

講師選定理由書

1. 講演の目的

本講演は、四日市青年会議所のメンバーが、デジタル技術を活用してより効率的に活動できるヒントを得ることを目的としています。特に、生成 AI を中心とした最新のデジタル事情や、他団体での活用事例を知ることで、青年会議所の活動にも応用できる可能性を探ります。

また、本講演は臨時総会の時間内で実施され、臨時総会の目的をより達成するための重要な設えとして位置付けています。臨時総会自体が「次年度のリーダー」を決める場であり、未来を見据えた構想を考える機会となるため、本講演を通じて、次年度以降の運営や活動のヒントを得るきっかけとなることを期待しています。

2. 講師の専門性・選定理由

講師には、四日市市を中心にデジタル活用の提案を行う株式会社フルバック 藤牧祥吾様をお招きします。

藤牧様は、ソフトウェア開発のみならず、企業や団体への改善ツールの導入支援にも力を入れており、業務の効率化や情報共有の最適化に関する幅広い知見を有しています。また、四日市青年会議所は、会員のみならず、地域の青年に成長の機会を提供する団体です。地域の青年である藤牧様と連携することで、青年会議所のデジタル活用の可能性を探るとともに、地域の発展にもつながる新たな視点を得る機会となると考えます。

3. アンケート結果と講演の必要性

本講演の必要性を裏付けるため、四日市青年会議所メンバーを対象に「活動の進め方に関するアンケート」を実施しました。その結果、以下のような課題が明らかになりました。

- **日程調整やスケジュール管理が負担** (63%) → 会議日程の調整に時間がかかり、迅速な意思決定が難しくなる。
- **事務的な作業に時間を取られている** (48.1%) → 記録や書類作成に追われ、戦略的な活動に十分な時間を確保できない。
- **情報共有や連絡がスムーズにいかない** (33.3%) → 必要な情報を適切に共有できず、メンバー間の連携が滞る。
- **報告や記録（議事録・議案作成など）が負担** (44.4%) → 書類作成の負担が大きく、審議や企画の進行が遅れる。

さらに、「活動をよりスムーズにするために、作業の負担を減らすツールや仕組みの導入が必要」と 88.9%のメンバーが回答しました。これは、青年会議所の活動を効率化するためのデジタル活用に強い関心があることを示しています。

また、74.1%のメンバーが「ぜひ試してみたい」とデジタルツールへの関心を示しつつも、「使いこなせるか不安」と回答したメンバーも37%にのぼり、導入のハードルが課題であることが分かりました。

他団体では、デジタルツールを活用することで、会議の自動議事録作成やオンラインスケジュール管理の導入により、**情報共有のスピード向上・業務負担の軽減**といった具体的な成果を上げています。こうした事例を参考にしながら、四日市青年会議所に適したデジタル活用の方法を学ぶことが、本講演の大きな目的の一つとなります。

このような状況を踏まえると、**デジタル活用に関する知見を深め、具体的な活用方法を学ぶ機会が求められています**。そのため、本講演は、青年会議所の活動の質を向上させるための重要なステップとなります。

4. 講演の具体的な内容

- ・ 時間：30分程度
- ・ 形式：スライドを使った講演（ワークショップなし）
- ・ 主な内容：
 - 生成AIを中心とした最新のデジタル事情
 - 他団体でのデジタル活用事例
 - 青年会議所の活動に活かせる可能性

本講演を通じて、メンバーが「これなら活用できるかも！」と感じるような具体的なヒントを得ることを目指します。

5. まとめ

藤牧様は、四日市市においてデジタル活用の第一線で活躍しており、企業・団体の課題解決を支援してきた実績があります。メンバーの多くが「活動の効率化」に関心を寄せ、デジタルツールの活用に前向きであることがアンケート結果からも明らかになっています。

また、他団体の成功事例を基に、四日市青年会議所がどのようにデジタル活用を進めることができるかを考える機会となるため、藤牧様の講演は単なる理論的な学習ではなく、実践的なヒントを得る場となることが期待されます。

このため、四日市青年会議所にとって、**デジタル活用の知見を深める機会を提供し、今後の活動の質を高める上で、藤牧様の講演は非常に有意義であると考えます。**

つきましては、藤牧祥吾様を講師として招聘することを提案いたします。